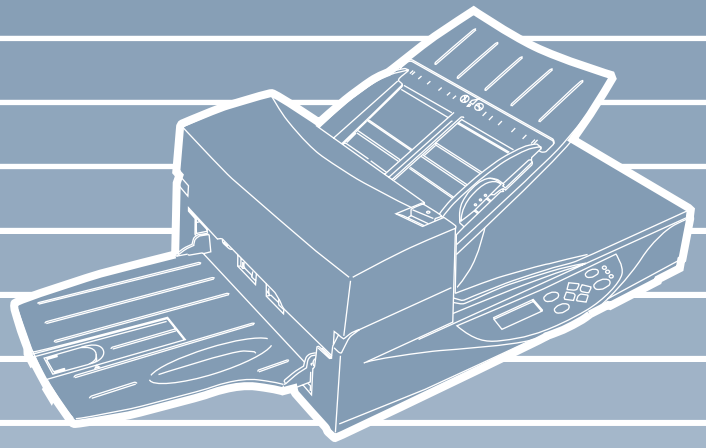




P3PC-E842-05

fi-4340C イメージスキャナ

清掃と保守のガイド



FUJITSU

版数履歴

版数	発行日	改訂内容
01	2001 年 10 月	初版
02	2003 年 3 月	第 2 版
03	2003 年 8 月	第 3 版
04	2004 年 10 月	第 4 版
05	2006 年 6 月	第 5 版
マニュアルコード : P3PC-E842-05		

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をご使用される前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としておりますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されますと、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる装置は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国で統一されています。



電源高調波抑制について

本製品は JIS C 61000-3-2 適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常産業用等の一般的な用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてのごお願い

この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃却される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。

製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引取りを行いますので、その際には、「PFU ライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」（電話 0467-70-7290）へお問い合わせをお願いします。

当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルを行っています。

水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。危険防止のために下記の事項を厳守してください。

- 口に入れないでください。
- 本製品の水銀が体内に入ると危険です。
- 気体や粉末、液体にしないでください。
- 本製品を焼いたり、砕いたり、科学的処理をした液体を吸引、誤飲すると危険です。
- 廃棄する場合は、関係国内法及び貴社廃棄物処理規定に従ってください。
- 本製品を廃棄する場合は、一般産業廃棄物や家庭用廃棄物とは別にしてください。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。

詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。

<http://eco.fujitsu.com/jp>



いつも地球を見守っている

複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証許可証、公文書、私文書などの複製は違法であり、処罰の対象となります。

紙幣等の偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキヤナを使用してプリンタに不正に印刷すると、その印刷物の使用如何にかかわらず下記の法律に違反し、罰せられます。

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条、
通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条 等

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

商標および登録商標について

Microsoft、Windows および WindowsNT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ISIS および QuickScan は、EMC Corporation の米国における登録商標および商標です。

Adobe®、Adobe ロゴ、Acrobat®、および Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、 Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Server operating system Version4.0 日本語版、 Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version4.0 日本語版

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

製造・販売元

株式会社 PFU
〒 212-8563
神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地（ソリッドスクエア東館）
TEL: 044-540-4538

All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED 2006

警告ラベルについて

当製品には以下のような警告ラベルが貼付けされています。



本スキャナ使用時はこのラベルが貼り付けてある ADF 内部のガラスは高温になります。火傷をするおそれがありますので十分注意してください。



注意

警告ラベルは絶対にはがさないでください。また、汚れてメッセージなどが見にくくなった場合は PFU イメージング サービス&サポートセンターまでご連絡ください。

本文中の表記について

警告／注意の表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の意味



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、おこなってはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



白抜きで示した記号は、必ず従っていただきたい内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

その他の表示マークについて

本書では、説明する内容により、以下の記号を使用しています。



注

本装置を使う際の使い方のヒント、便利な機能、参考にしていただきたい内容について説明しています。必要に応じてお読みください。

メンテナンスについて

当製品の修理はお客様自身でおこなわないでください。

製品をお求めになった販売店、あるいは PFU イメージング サービス&サポートセンターに連絡してください。

はじめに

このたびは、fi-4340C イメージスキャナ装置をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本スキャナの機能を十分発揮させるために、本書に従って正しくお使いください。このマニュアルは、fi-4340C イメージスキャナの「操作のしかた」、「清掃のしかた」、「消耗品の交換」、「異常時の処置」について説明しています。

本書は、下記の各章から構成されています。

本書の構成

- 1 操作のしかた
- 2 清掃のしかた
- 3 消耗品の交換
- 4 困ったときには

fi-4340C の基本的な操作については、「オペレータガイド」を参照してください。

添付ソフトウェアのインストールについては、付属のインストレーションガイド、および Setup CD-ROM 内のドライバの取扱説明書を参照してください。

安全上のご注意

■ 警告

本書中に記載されている重要な警告事項は以下のとおりです。

電源ケーブルを傷つけない



電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

また、電源ケーブルや電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。

指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する



指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

また、たこ足配線をしないでください。

電源プラグのほこりは、よく拭き取る



電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しますと、火災や感電の原因となることがあります。

異臭がしたら使用しない



万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、販売会社（または保守サービスセンタ）にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

内部に水や異物を入れない



開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。

本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（または保守サービスセンタ）にご連絡ください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



むやみに内部を開かない



装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。

オプション機器の取り付けや取り外しの時は、電源プラグをコンセントから抜く



オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに、それぞれの手順に従って行ってください。



電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持ってコンセントから抜いてください。

本装置は日本国内専用です



本装置は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。

装置をひとりで持たない



装置を動かすときは、決して一人で行わないでください。

機器を破損したら電源を切る



機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売会社（または保守サービスセンター）にご連絡ください。

■ 注意

本書中に記載されている注意事項は以下のとおりです。

濡れた手で電源ケーブルを触らない



濡れた手で電源プラグを抜き差ししますと、感電の原因となることがあります。

アース線を接続する



この装置はアース線の接続を必要としています。電源ケーブルは必ず3ピンのコンセントに接続してください。アース線の接続ができない場合は、販売会社（または保守サービスセンター）にご相談ください。

装置を不安定なところに置かない



スキャナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。



装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。

電源プラグを確実に差し込む



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

通気口をふさがない



通気口をふさぎますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがないでください。

装置の上に重いものを載せない、上に乗らない



装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。

装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く



ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。

静電気を避ける



強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

歯車やローラなどに衣服やネクタイ、髪を巻き込まれないようにする



歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く



長期間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

雷が鳴り出したらすぐに電源ケーブルをコンセントから抜く



近くで雷が発生したときは、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。入れたままにしておきますと、装置が破損することがあります。

直射日光の当たる場所に置かない



直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

目次

□ 1	操作のしかた 1-1
	ユニット 1-2
	取り外し可能部品 1-4
	操作パネル 1-5
	操作パネル表示 1-7

□ 2	清掃のしかた 2-1
	清掃用品および清掃が必要な場所 2-2
	ADF の清掃 2-4
	原稿台の清掃 2-10

□ 3	消耗品の交換 3-1
	消耗品 3-2
	パッド ASSY 3-3
	ピックアップローラ 3-7

□ 4	困ったときには 4-1
	つまった用紙を取り除く 4-2
	異常の点検と診断 4-3
	チェックリスト 4-19
	装置ラベルの確認 4-20
	ハードウェアの故障 / 修理の ご質問・お問い合わせ窓口 4-21

第 1 章

操作のしかた

1

第 2 章

清掃のしかた

2

第 3 章

消耗品の交換

3

第 4 章

困ったときには

4

1

操作のしかた

本章では、ユニット、取り外し可能部品、操作パネルおよび操作パネル表示について説明します。

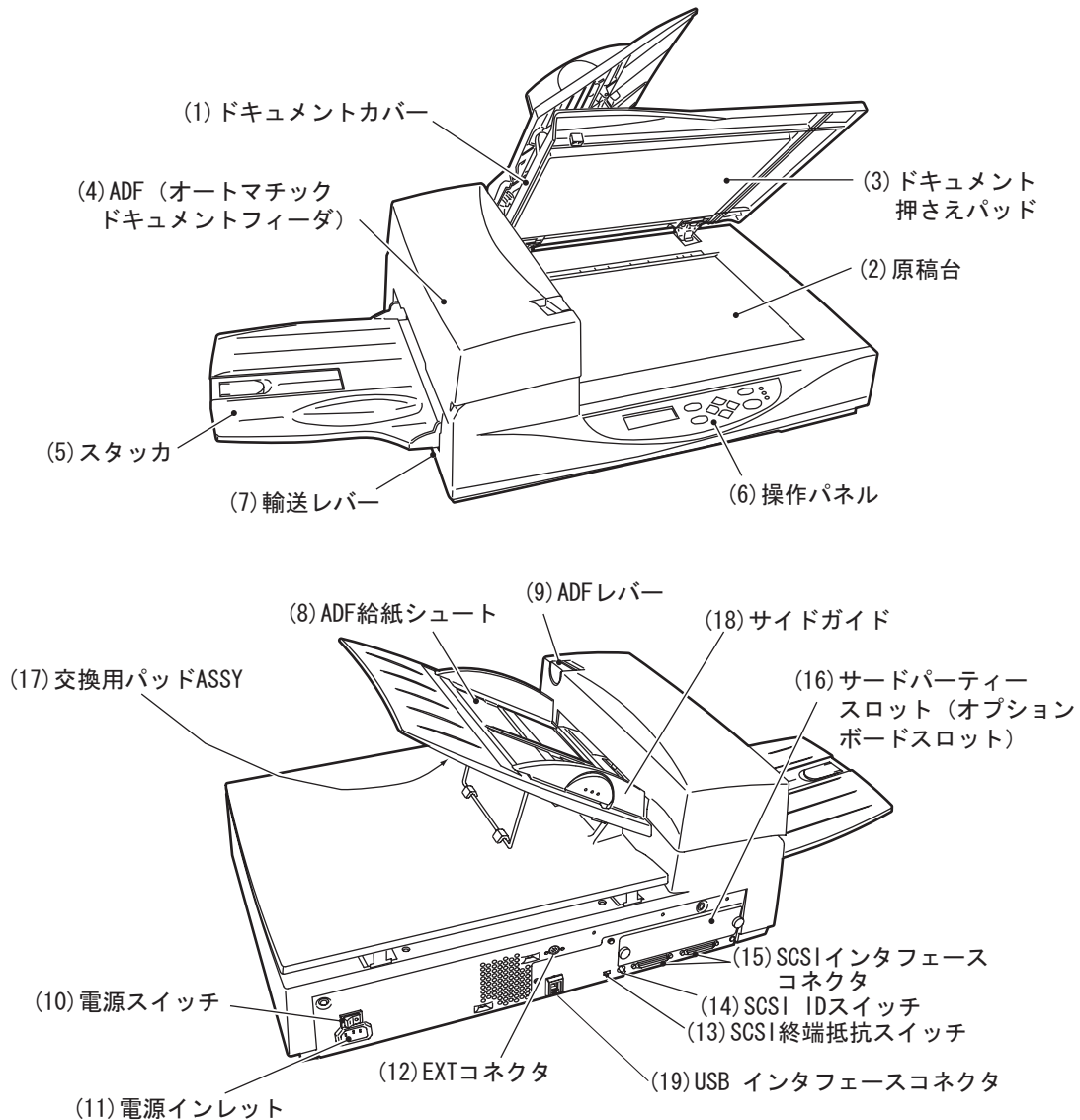
ユニット

取り外し可能部品

操作パネル

操作パネル表示

ユニット

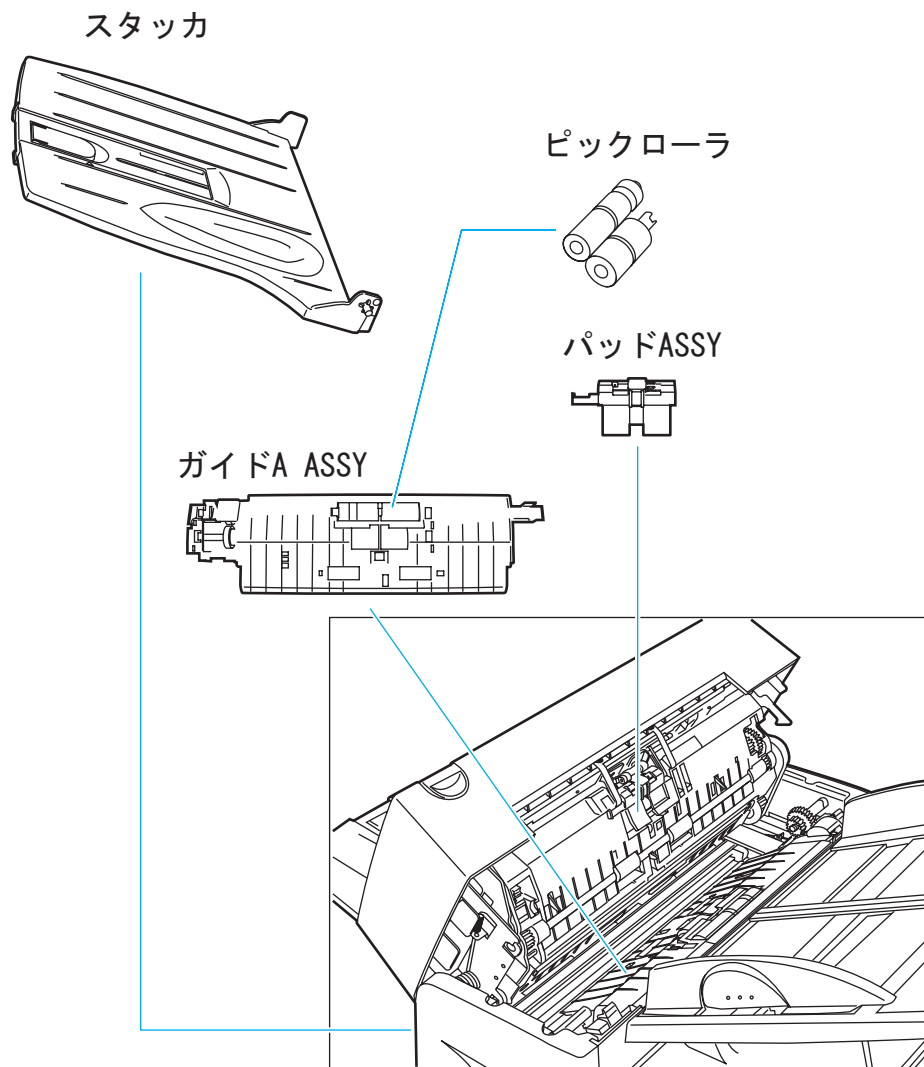


注

スキャナを使用する際は、輸送レバーを解除の位置に切り替えてください。輸送レバーについては、「オペレータガイド」を参照してください。

No.	名称	機能
1	ドキュメントカバー	閉めると、読み取り位置にセットした原稿が固定されます。
2	原稿台	1枚ずつ読み取る場合、ここに原稿を置きます。フラットベッドとも呼ばれます。
3	ドキュメント押さえパッド	原稿を原稿台に押しつけます。
4	ADF（オートマチックドキュメントフィーダ）	原稿を、読み取り位置まで自動的に繰り込みます。
5	スタッカ	読み取られた原稿が積み重なります。
6	操作パネル	スキャナを操作するために使用します。LCDにはスキャナの状態が表示されます。
7	輸送レバー	キャリアユニットを固定します。工場出荷時はロック状態になっています。
8	ADF 給紙シュート	複数枚の原稿を読み取る場合に使用します。
9	ADF レバー	ADF 内で紙詰まりが起きた場合、原稿を取り除くために開きます。
10	電源スイッチ	電源を投入／切断するために使用します。
11	電源インレット	ACの電源コンセントからの電源ケーブルを接続します。
12	EXT コネクタ	インプリンタオプション接続用のコネクタです。
13	SCSI 終端抵抗スイッチ	本装置が SCSI の最終端になる場合は「ON」、それ以外の場合は「OFF」にします。
14	SCSI-ID スイッチ	SCSI-ID を設定します（出荷時の設定は ID=5）。
15	SCSI インタフェースコネクタ	ホストシステムからの SCSI インタフェースケーブルを接続します。
16	サードパーティースロット（オプションボードスロット）	オプションの fi-475VI（ビデオインタフェースボード）または fi-475CMP3（画像圧縮ボード）を差し込みます。
17	交換用パッド ASSY	予備のパッド ASSY です。（本装置出荷時には、予備のパッド ASSY が 1 個添付されています。）
18	サイドガイド	原稿が傾いて搬送されないように原稿の幅に合わせてセットします。
19	USB インタフェースコネクタ	USB インタフェースケーブルを接続します。

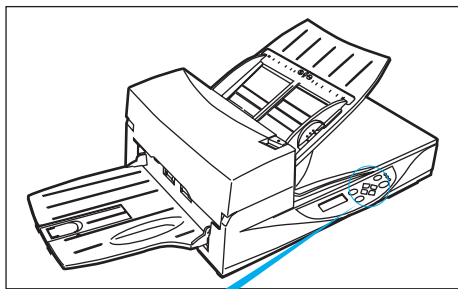
取り外し可能部品



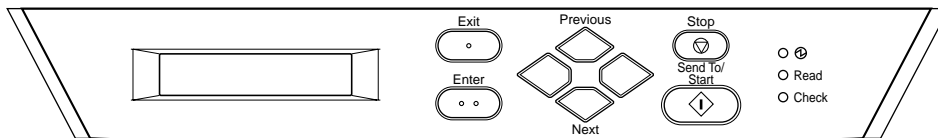
操作パネル

操作パネルは、スキャナの前部右側にあります。このパネルは、LCD（16文字×2行）、LED、ボタンから構成されています。






■ 配列



操作パネル



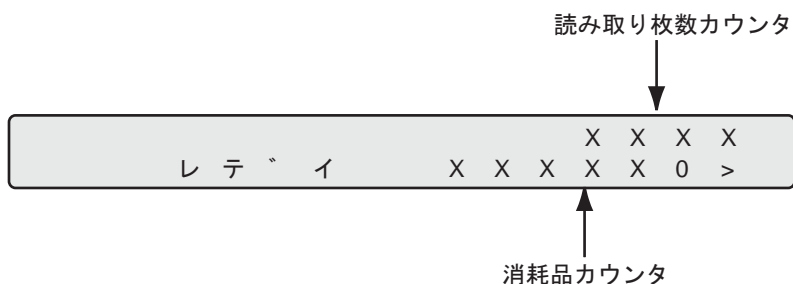
■ ボタンおよび LED の機能

ボタンと LED の名称		機能
ボタン	Next 	次の画面を表示します。
	Previous 	前の画面を表示します。
		カーソルを左に移動します。
		カーソルを右に移動します。
	Exit	操作パネルで設定をしている時にこのボタンを押すと、LCD 表示は直ちに「レディ」画面に戻ります。
	Enter	現在カーソルで選択されているパラメータを保存します。
	Send To/ Start	「手挿入」モードがセットされているか「Read」LED が点灯している時に操作可能です。ビデオインタフェースオプションが使われていれば、読み取りを開始します。また一部のアプリケーションソフトで使われることがあります。
Stop	「Check」LED が点灯している時にこのボタンを押すと、エラー状態を解除します（「Check」LED が消灯し、LCD 表示は「レディ」画面に戻ります）。 読み取り動作中にのみ操作可能です。ビデオインタフェースオプションが使われていれば、読み取りを停止します。 「Check」LED を消灯します。	
LED		スキャナの電源が投入されている時に点灯します。
	Read	スキャナが読み取り動作中か読み取り動作可能な時に点灯します。
	Check	<ul style="list-style-type: none"> アラームが起きた時に点灯します。「Stop」ボタンを押すと「Check」LED は消灯します。 紙詰まりまたはマルチフィードが起きた時は 1 秒間隔で点滅します。紙詰まりの場合、詰まった紙を取り除くと「Check」LED は消灯します。マルチフィードの場合、「Stop」ボタンを押すと「Check」LED は消灯します。 ADF の清掃が必要な時は 4 秒間隔で点滅します。

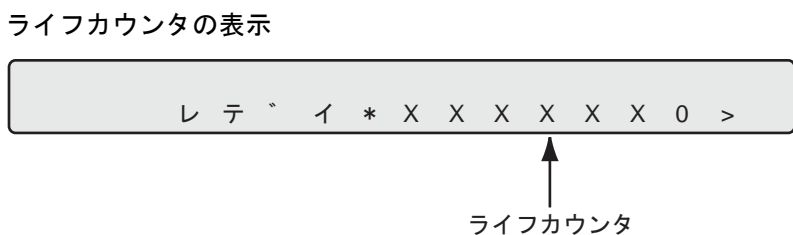
操作パネル表示

■ カウンタ表示

読み取り枚数カウンタ、および消耗品カウンタの表示は、以下のようになっています。



ライフカウンタの表示は、◇ボタンと◇ボタンを同時に1秒以上押しただくと、以下のように切り換わります。



カウンタ	機能	
読み取り枚数カウンタ	◇ボタンを1秒以上押した時	読み取り開始から「ヨウシナシ」またはエラーが検出されるまでに読み取った原稿の枚数を表示します。カウンタは読み取り開始時自動的にリセットされます。例えば、一つのバッチ業務で読み取った原稿の枚数を知るのに利用できます。
	◇ボタンを1秒以上押した時	表示されているカウンタは原稿を1枚読み取る毎に1進みます。カウンタは電源が切断されるまで初期化されません。例えば、1日に読み取った原稿の枚数を知るのに利用できます。
消耗品カウンタ	スキャンされた原稿の累積枚数を数えます。このカウンタは原稿を10枚読み取る毎に1進みます。このカウンタは清掃の周期や部品の交換周期の目安としてお使いください。リセットの方法は「オペレータガイド」を参照してください。	
ライフカウンタ	スキャンされた原稿の出荷時からの累積枚数を表示します。このカウンタは原稿を10枚読み取るごとに1進みます。このカウンタは装置の寿命の目安としてお使いください。	



カウンタの値が0の時は、数字は表示されません。

■ 操作状態のメッセージ

以下のメッセージにより操作状態が示されます。

< Not Ready 状態 >

シハ`ラクオマチクタ`サイ！！

< 読み取り中 >

ヨミトリチュウ X X X X

< 低電力モード >

スキャナのディスプレイが消えて電源表示ランプ^⑥がついたままのときは、スキャナは低電力モードになっています。



注

以下の操作のうち一つを行うとスキャナは起動します。

- どれかボタンを押す。
- ADF に原稿をセットする。
- ホストコンピュータからコマンドを送信する。

< Start ボタン待ち状態 >

(ビデオインタフェースオプションが取り付けられている場合のみ)

「Start」ボタンが押されるのをスキャナが待っている状態のときは、以下のメッセージが操作パネルに表示されます。

ヨミトリカノウ

< 清掃指示 >

ピックアップの清掃が必要なときは、操作パネルの上の行に、以下のメッセージが表示されます。

ヒ`ックローラノセイソウ

ADF ガラス部分の清掃が必要なときは、操作パネルの上の行に、以下のメッセージが表示されます。

A D F カ`ラスノセイソウ

ピックアップラ及び ADF ガラス部分の清掃が必要なときは、操作パネルの上の行に、以下のメッセージが表示されます。

ピ ッ ク ロ ー ラ ノ セ イ ソ ウ
A D F カ ー ラ ス ノ セ イ ソ ウ

“2 清掃のしかた” (2-1 ページ) に従って、ピックアップラまたは ADF のガラスを清掃してください。

■ 一時的なエラーメッセージ

<ホッパエンpty>

ヨ ウ シ ナ シ

ADF モードでの読み取り中に ADF 給紙シュートに原稿がなくなると、このメッセージが表示されます。ADF 給紙シュートに原稿を補給してください。読み取り動作を可能にするには、「Stop」ボタンを押してください。

<ジャム>

ヨ ウ シ ツ ン マ リ

原稿が ADF で紙づまりを起こすと、このメッセージが表示されます。紙づまり原稿の取り除き方については、“4 困ったときには”の“つまった用紙を取り除く” (4-2 ページ) を参照してください。

<ADF カバーオープン>

A D F オ ー フ ン

ADF が完全に閉じられていないと、このメッセージが表示されます。ADF を完全に閉じれば、読み取りを行えるようになります。

<マルチフィードエラー>

マ ル チ フ ィ ー ト ン エ ラ ー

ADF がマルチフィードエラーを検出すると、このメッセージが表示されます。原稿を確認し、再度読み取りし直してください。

<インクカートリッジなし>

イ ン ク カ ー ト リ ッ ジ ン ナ シ

インプリンタが接続されている場合、インプリンタにプリントカートリッジが取り付けられていないと、このメッセージ表示されます。詳細はインプリンタのユーザーガイドを参照してください。

<印字位置エラー>

フ ° リ ン ト エ ラ ー

インプリンタが接続されている時、印字をおこなう場合は、原稿が通らない位置にインプリンタが設置されているか、あるいはスタッカ上の原稿がいっぱいになると、このメッセージが表示されます。詳細はインプリンタのユーザーガイドを参照してください。

■ アラーム（装置異常）

スキャナに異常が起きると、以下のメッセージのどれかが表示されます。その場合は、電源を切断してからもう一度電源を投入してください。もし、同じメッセージが表示された場合は、販売代理店または巻末の「イメージング サービス&サポートセンター」に連絡してください。

<光学系異常（表面）>

コ ウ カ ` ク イ シ ` ヨ ウ オ モ テ

<光学系異常（裏面）>

コ ウ カ ` ク イ シ ` ヨ ウ ウ ラ

<フラットベッド駆動系異常>

F B ク ト ` ウ ケ イ イ シ ` ヨ ウ



注

ADF で読み取られた原稿の総枚数が 100 枚未満であるときは、上記のメッセージと下記のメッセージが交互に表示されます。

キャリアユニットを固定している輸送レバーを解除してください。輸送レバーの解除の方法については、「オペレータガイド」を参照してください。

ユ ソ ウ レ ハ ` ー ヲ
カ ク ニ ン シ テ ク タ ` サ イ

<モータヒューズアラーム>

モ ー タ ヒ ュ ー ス ` イ シ ` ヨ ウ

<ランプヒューズアラーム>

ラ ン プ ` ヒ ュ ー ス ` イ シ ` ヨ ウ

<イメージ転送アラーム>
(SCSI 使用時のみ)

イ メ ー シ ョ ン テ ー タ テ ン ソ ウ エ ラ ー

<メモリアラーム>

メ モ リ イ シ ョ ン

<EEPROM アラーム>

E E P R O M イ シ ョ ン

<FAN アラーム>

フ ァ ン イ シ ョ ン

<IPC ボードアラーム>
(fi-IPC4D (画像処理ボード))

I P C イ シ ョ ン

<自己診断異常>

電源表示ランプ^②と「Check」LED が交互に点滅します。

<インプリンタ異常>

イ ン プ リ ン タ イ シ ョ ン

<SCSI コントローラ異常>

ソ ウ チ イ シ ョ ン

<USB コントローラ異常>

U S B イ シ ョ ン

2

清掃のしかた

本章では、清掃用品、清掃が必要な場所、およびADFとフラットベッドの清掃のしかたについて説明します。

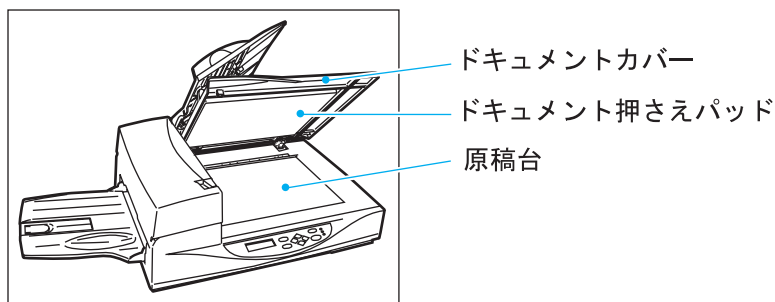
清掃用品および清掃が必要な場所

ADFの清掃




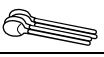
原稿台の清掃

清掃用品および清掃が必要な場所

⚠ 注意 スキャナを掃除するときは必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。



清掃用品

清掃用品	サプライ番号	清掃頻度 (*1)(*3)	備考
クリーニングペーパー 	0 6 3 1 1 8 0	<ul style="list-style-type: none"> 5千枚読み取り毎 F1クリーナーを吹きつけて使用します 	10枚入り
クリーナ F2 	0 6 3 1 1 6 0	<ul style="list-style-type: none"> プラスチックローラ (*2) 必要時 	1 ボトル 綿棒にて清掃します
クリーナ F1 または イソプロピル アルコール 	0 6 3 1 1 5 0	<ul style="list-style-type: none"> パッド ASSY 5千枚読み取り毎 ピックローラ / フィードローラ / ガラス / シートガイド 5千枚読み取り毎 	1 ボトル 布にて清掃します
綿棒 			
乾いた布			

清掃用品の詳細については、スキャナをご購入された販売会社、またはコワーコ株式会社にお問い合わせください。

*1: 操作パネルのディスプレイに「ピックローラ ノ セイソウ」と表示されている場合は、ここで推奨する頻度にかかわらず、清掃を行ってください。

⚠ 注意

*2: クリーナ F2 でゴム製の部分を清掃しないでください。

*3: 操作パネル上の消耗品カウンタを参照して、次の清掃が必要な時期を判断してください。

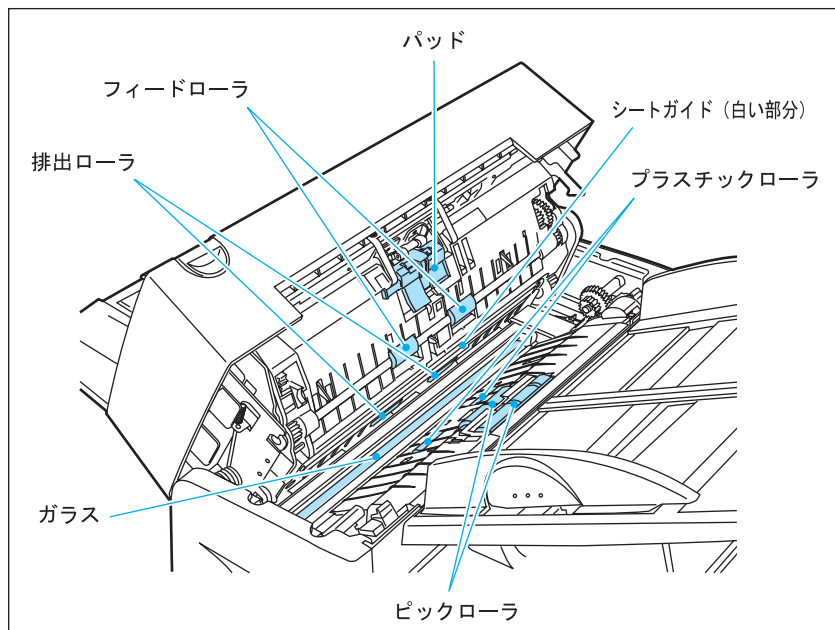
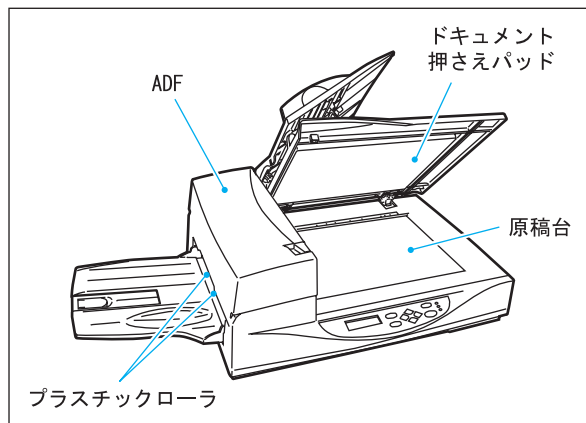
注

以下のような原稿を使用している場合は、頻りに清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷されている原稿
- ノンカーボン紙のように化学物質で特殊加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿を多数読み取る場合

清掃が必要な場所

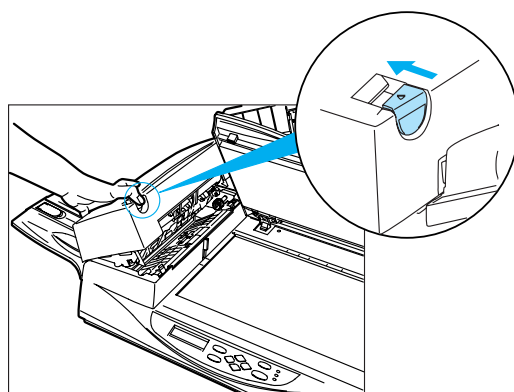
場所	名称	クリーナ F1+ クリーニングペーパー使用	クリーナ F1 + 布使用	クリーナ F2 + 綿棒使用
フラットベッド	ドキュメント押さえパッド		○	
	原稿台		○	
ADF	パッド	○	○	
	ガラス/シートガイド	○	○	
	ピックローラ	○	○	
	プラスチックローラ	○	○	○
	フィードローラ	○	○	
	ピックアームローラ		○	○



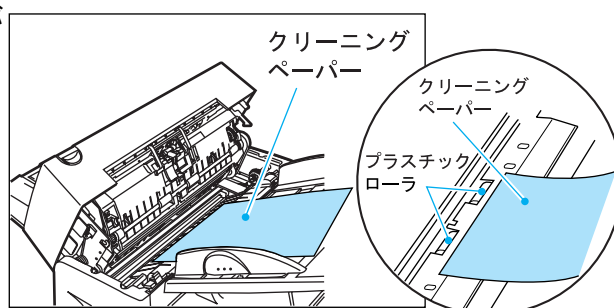
ADF の清掃

■ クリーニングペーパーによる ADF の清掃

- 1 ADF レバーを引いて ADF を開けます。
- 2 クリーナ F1 を新しいクリーニングペーパーに軽く吹きかけます。



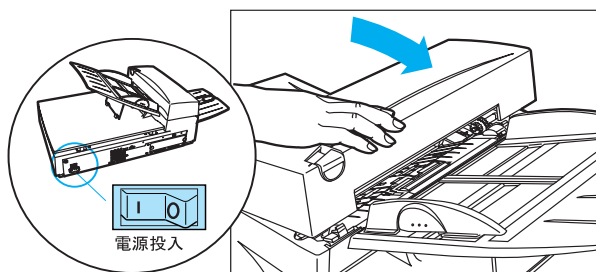
- 3 クリーニングペーパーの短い側の端がプラスチックローラに触れるように、クリーニングペーパーを ADF に置きます。



- 4 ADF を閉じ、電源を投入して清掃を開始します。

- 5 停止を確認して電源を切断します。

- 6 クリーニングペーパーの上面と下面を入れ替えて、1 から 5 の手順を繰り返します。

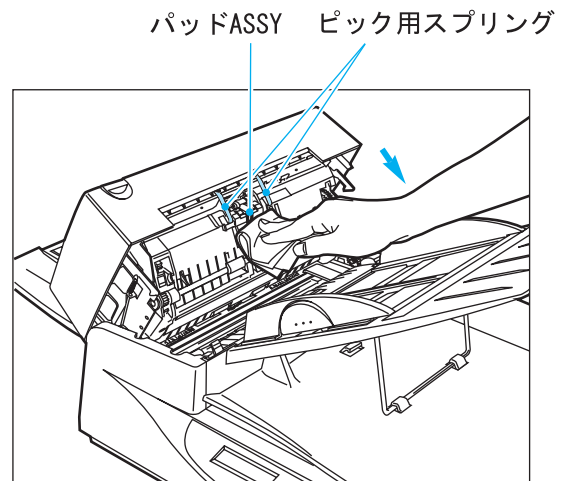


■ 乾いた布、またはクリーナ F1 をつけた布によるパッド ASSY の清掃

- 1 ADF レバーを引いて ADF を開けます。
- 2 以下の通りに、クリーナ F1 をつけた布か乾いた布で汚れやほこりをやさしく取り除きます。

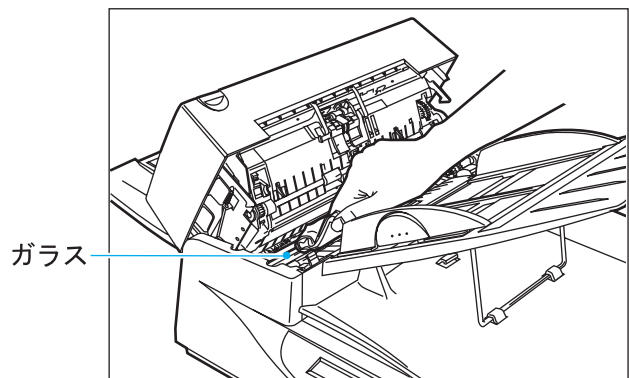
パッド ASSY

矢印で示すように、パッドを下方方向に向かって拭きます。パッドを拭くときにピックアップ用のスプリングをひっかかないように注意してください。



ガラス

ガラスをそっと拭きます。



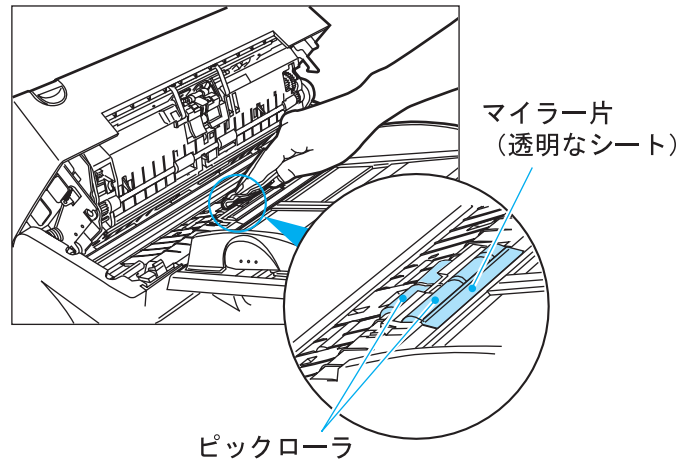
注
ガラスが汚れていると、読み取った画像に黒い縦縞が出る場合があります。



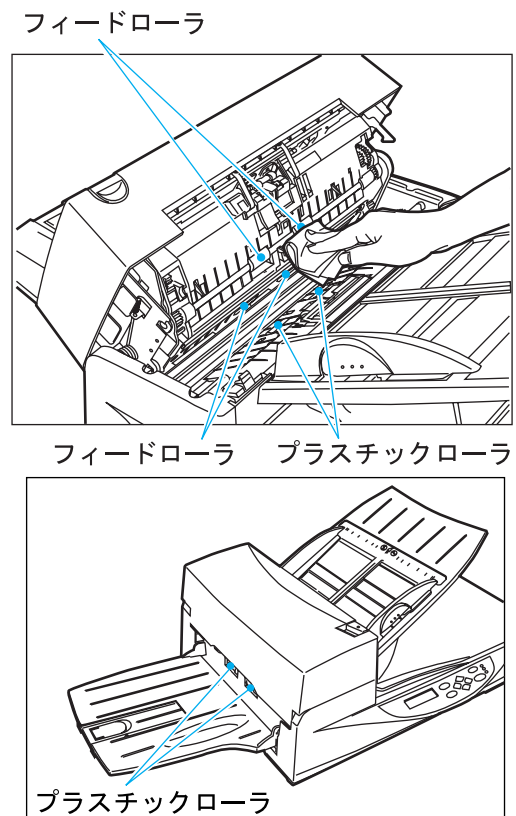
注意
読み取り直後に、ガラスに直接触れないでください。
やけどする場合があります。

ピックローラ

ローラを拭きます。ピックローラにあるマイラー片を傷つけないように注意してください。

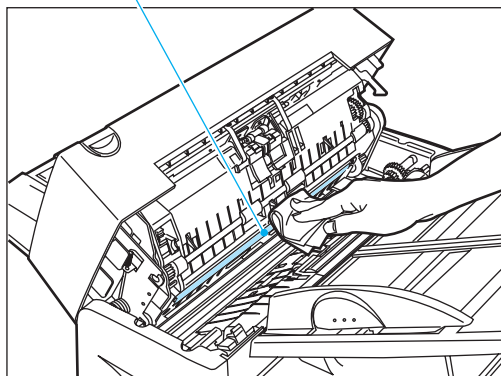


フィードローラとプラスチックローラ
ローラを拭きます。ローラの表面を傷つけないように注意してください。



シートガイド（白い部分）
シートガイドを拭きます。

シートガイド（白い部分）



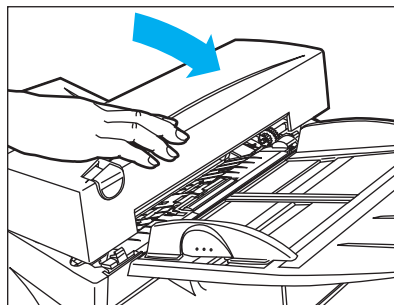
2



注

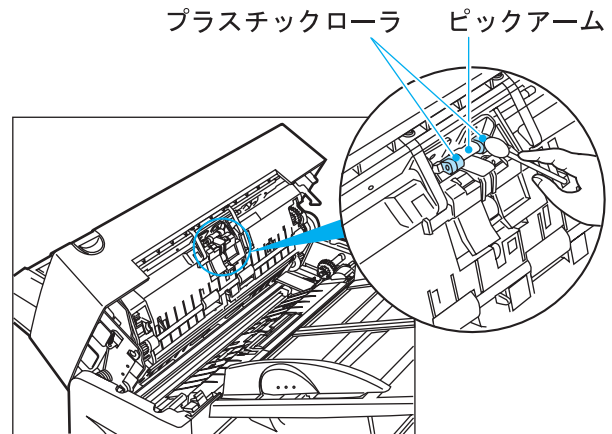
シートガイドが汚れていると、読み取った画像（おもて面）に縦縞が出ることがあります。

3 ADF を閉じて ADF レバーを
ロックします。



■ ピックアップローラの清掃

- 1 ADF レバーを引いて ADF を開けます。



- 2 綿棒または乾いた布に、クリーナ F1 または F2 をつけます。
- 3 ピックアップアームの先端にある小さいプラスチックローラを拭きます。
- 4 ローラが濡れていますので、きれいな乾いた布で小さいプラスチックローラとピックアップアームを拭いて乾かします。

注

ノンカーボン紙をご使用の場合は、ピックアップローラは黒く汚れることがあります。クリーナ F2 を使って汚れを取り除いてください。

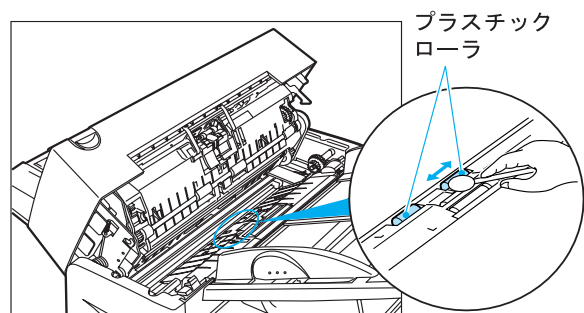
注意

1. クリーナ F2 でパッドのゴム製の部分を拭かないでください。
2. パッドのゴム製の部分にクリーナ F2 を付着させないでください。

■ クリーナ F2 によるプラスチックローラの清掃

1 ADF レバーを引いて ADF を開けます。

2 綿棒にクリーナ F2 をつけます。

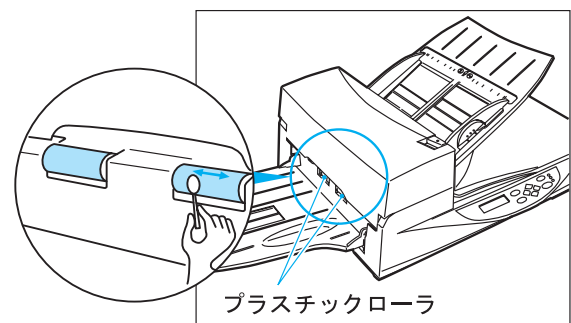


3 プラスチックローラの表面を拭きます。

⚠ 注意

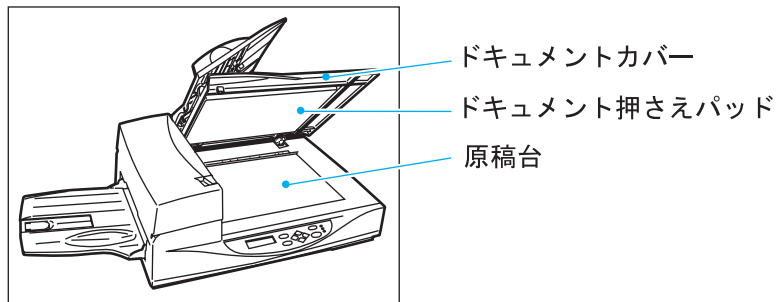
クリーナ F2 のついた綿棒でピックアップローラを拭かないでください。

4 プラスチックローラがクリーナ F2 で湿っているため、きれいな乾いた布でプラスチックローラの表面を拭き、乾くまで待ちます。



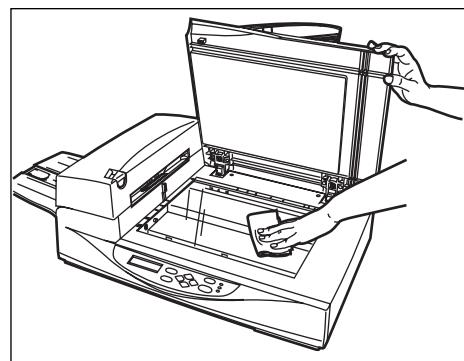
原稿台の清掃

■ クリーナ F1 による原稿台の清掃



クリーナ F1 の代わりに窓拭き用洗剤やガラス用クリーナ（プラスチック類に使用不可のものは除く）などもお使いいただけますが、シンナーなどの有機溶剤はご使用にならないでください。

- 1 ドキュメントカバーを開けます。
- 2 クリーナ F1 をきれいな布につけます。
- 3 ドキュメント押さえパッドと原稿台を拭きます。
- 4 乾くまで待ちます。



原稿台とプラスチックカバーの隙間にクリーナが染み込まないように注意してください。

3

消耗品の交換

本章では、消耗品、パッドASSY およびピックローラの交換のしかたについて説明します。

消耗品

パッド ASSY

ピックローラ

消耗品

本スキャナの消耗品は、お客様自身で交換していただきます。以下の表に、スキャナに使用する消耗品とその寿命を示します。適当数の消耗品をストックし、定期的に交換してください。交換は、以下の表に示す寿命のガイドライン、および本章の“パッド ASSY”（3-3 ページ）、“ピックアップローラ”（3-7 ページ）の記述に従ってください。これらを推奨通りに交換しなかった場合、スキャナは適正に機能しないことがあります。部品の交換時期は、読み取った原稿の総枚数を消耗品カウンタで確認して判断してください。

名前	仕様	商品番号	寿命（ガイドライン）
パッド ASSY	PA03277-0002	0961143	10 万枚または 1 年まで
ピックアップローラ	PA03277-0001	0961144	20 万枚または 1 年まで (2 個のローラ共に)

消耗品の詳細については、スキャナをご購入された販売会社または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。



注

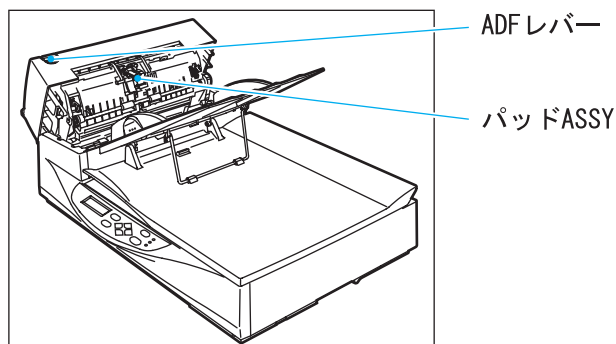
消耗品の交換については、“パッド ASSY”（3-3 ページ）および“ピックアップローラ”（3-7 ページ）を参照してください。



警告

ある特定の用紙をご使用の場合またはご使用の条件によっては、消耗品の寿命が短くなる場合があります。

パッド ASSY



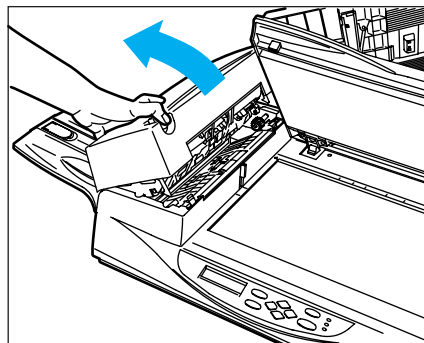
パッド ASSY の寿命は約 10 万枚読み取り毎、または 1 年です。操作パネル上の消耗品カウンタを使用して、パッド ASSY の交換が必要な時期を判断してください。ノンカーボン紙を頻繁に読み取る場合、寿命は短くなることがあります。



電源を切断してからパッド ASSY を交換してください。

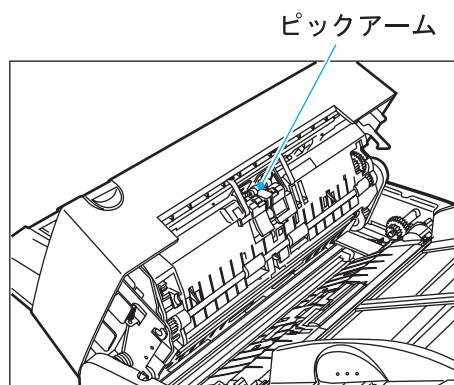
1

ADF レバーを引いて ADF を開けます。



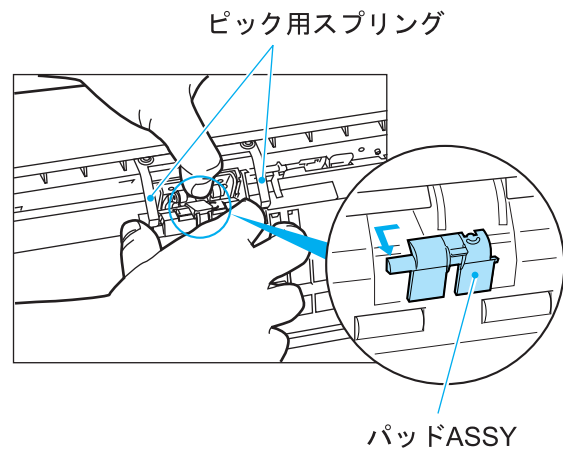
2

ピックアップアームを押し上げます。



本装置出荷時には、ADF 給紙シュートの裏側に予備のパッド ASSY が 1 個添付されています。使用時は左にずらし、手前にひき、取り外して使用してください。

- 3** パッド ASSY を左にずらし、手前に引きます。その時、ピック用のスプリングをひっかかないように注意してパッド ASSY を取り外します。



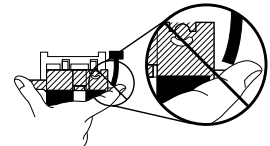
注

右の図を参照して、パッド ASSY の両端を持ってください。

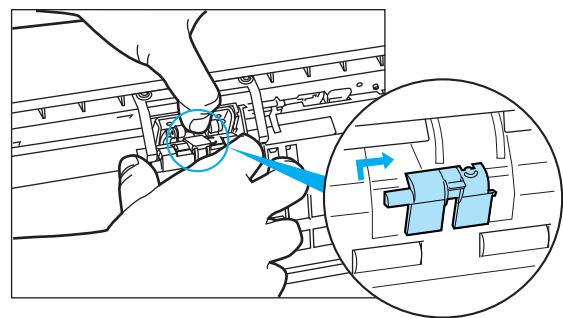


注意

パッド ASSY のセンサアーム部分を持たないでください。



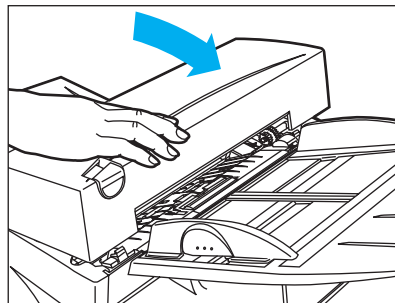
- 4** 手順 3 と逆の順にパッド ASSY を ADF に取り付けます。



注

パッド ASSY のピンを大きい方の穴にはめこんで、右方向へ止まるまでずらします。

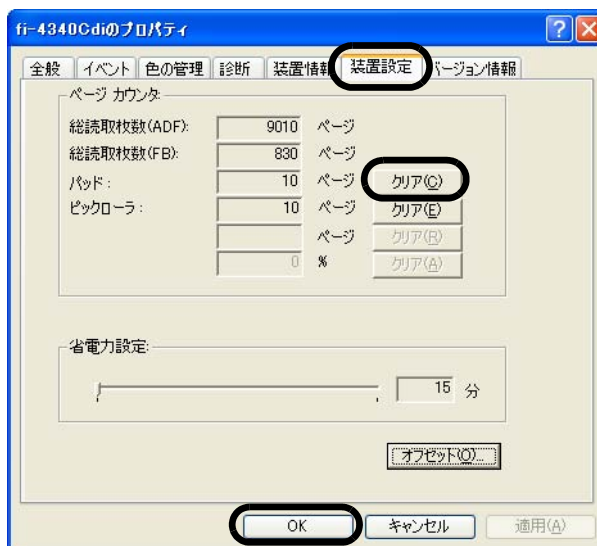
5 ADF を閉じます。



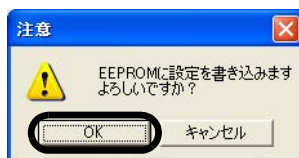
6 パッドカウンタをリセットします。

•Windows 98 / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP の場合

1. スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
2. ホストコンピュータのコントロールパネル内より、[スキャナとカメラ] を選択します。
3. [fi-4340Cdj]* のプロパティを開きます (* オプションにより装置名が変わる場合があります)。
4. [fi-4340Cdj のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
5. 「装置設定」タブをクリックします。
以下の画面が表示されます。



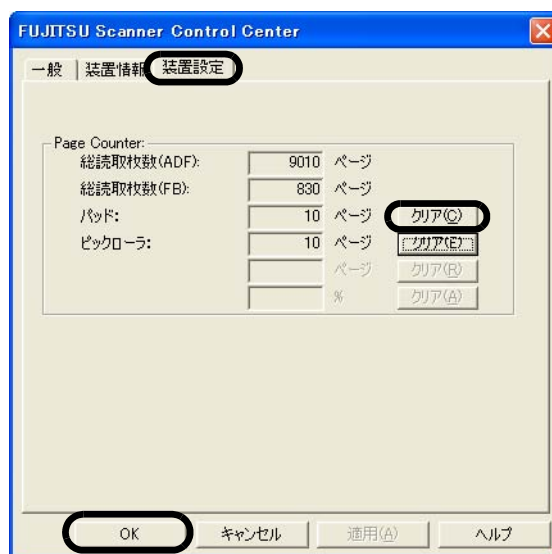
6. 「ページカウンタ」内の「パッド」の横の[クリア]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックします。
以下の画面が表示されます。



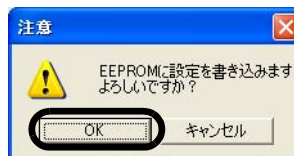
- [OK] ボタンをクリックします。
これでパッドカウンタが0に戻ります。

●Windows 95 / Windows NT 4.0 の場合

1. スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
2. タスクトレイに表示されている「FUJITSU Scanner Control Center」のアイコンを右クリックして、「オプション」を選択します。
3. 「装置設定」タブをクリックします。
以下の画面が表示されます。

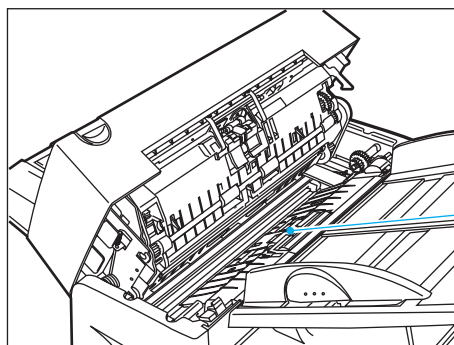


4. 「Page Counter」内の「パッド」の横の[クリア]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックします。
以下の画面が表示されます。



「OK」ボタンをクリックします。
これでパッドカウンタが0に戻ります。

ピックアップローラ



ピックアップローラ
(ローラが二つあります。)



注

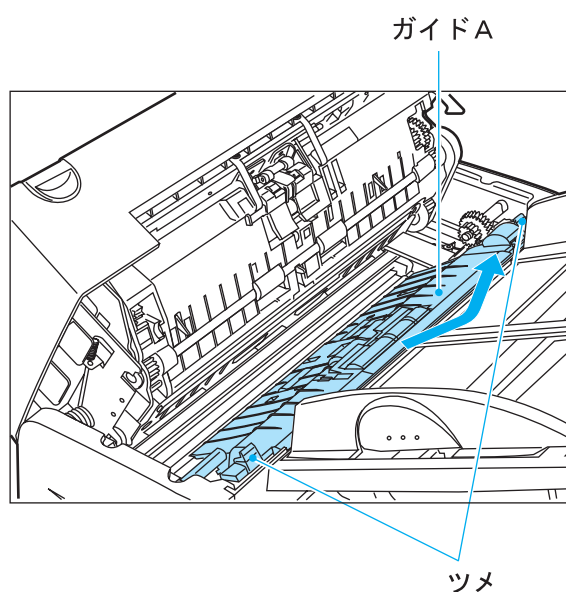
ピックアップローラの寿命は約 20 万枚読み取り毎、または 1 年です。
操作パネル上の消耗品カウンタを使用して、ピックアップローラの交換が必要な時期を判断してください。
ノンカーボン紙を頻繁に読み取る場合、寿命は短くなる場合があります。



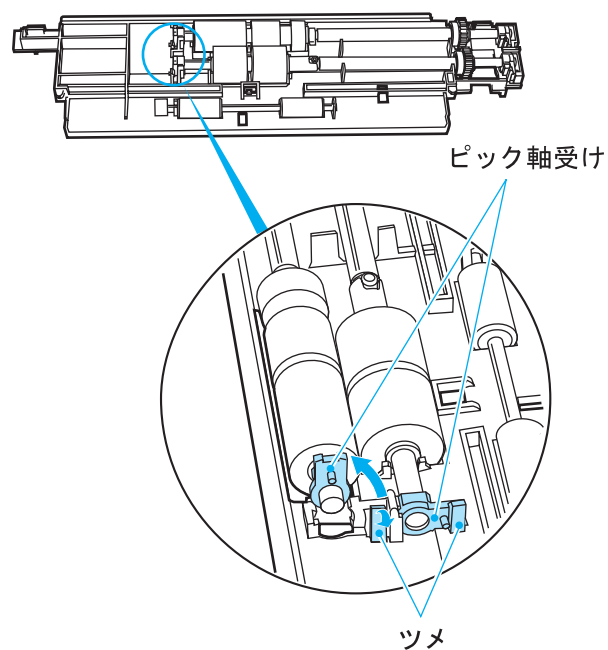
電源を切断してからピックアップローラを交換してください。

1 ADF レバーを引いて ADF を開けます。

2 両手でガイド A の左右の取っ手部のツメを解除して、上に持ち上げて、取り外します。



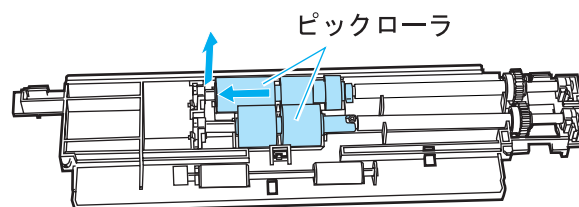
- 3** ガイド A を裏向きに置き、ギヤのない側のピック軸受けのツメを解除しながら、ピック軸受けを回転させ、取り外します。
2 つとも取り外してください。



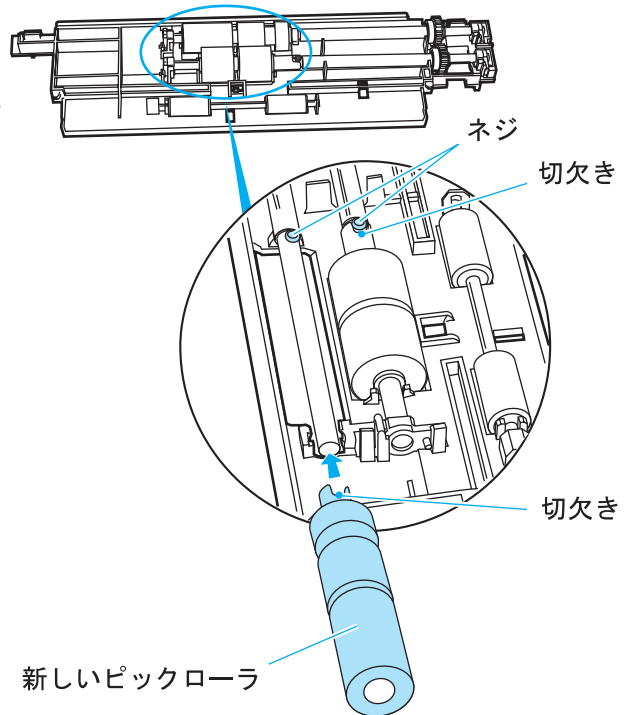
⚠ 注意

ピック軸受けは堅いため、指の爪でピック軸受けを回転させることはおやめください。指でうまく回転させることができない場合は、クリップなどを使って回転させてください。

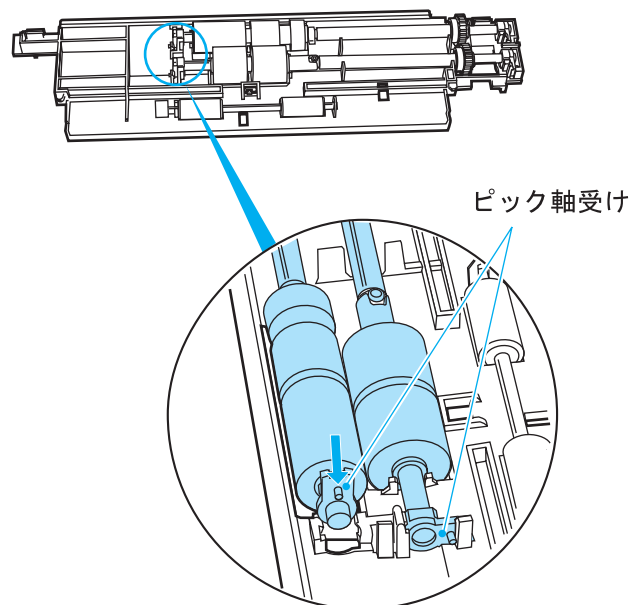
- 4** ピック軸を軽く持ち上げ、ピックローラを抜き取ります。
2 本とも抜き取ってください。



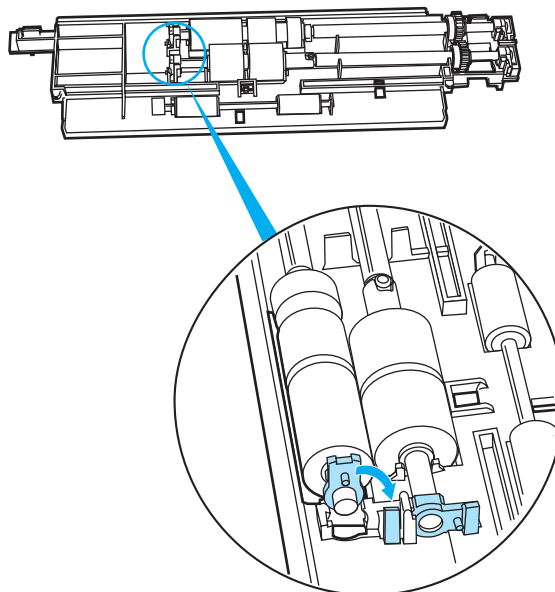
- 5** 新しいピックローラを取り付けます。ピックローラの切欠きをネジに合わせてピック軸に挿入します。2本とも挿入してください。



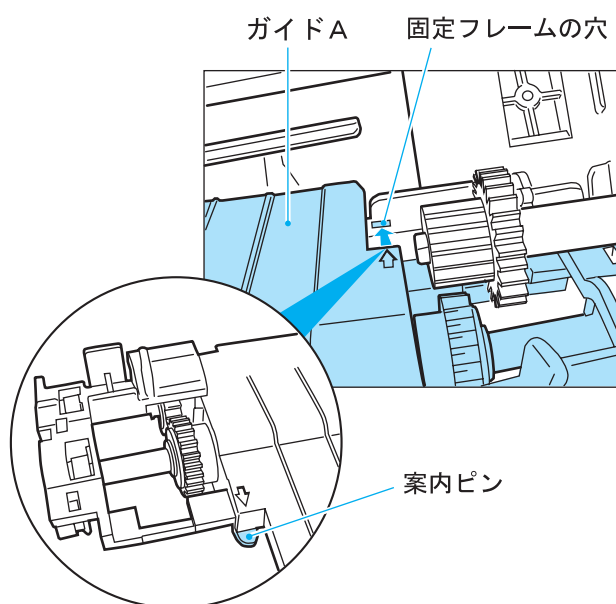
- 6** ピック軸受けをピック軸に通し、ピック軸受けを上方向に向けた状態で、ガイドAの溝に挿入します。2本とも挿入してください。



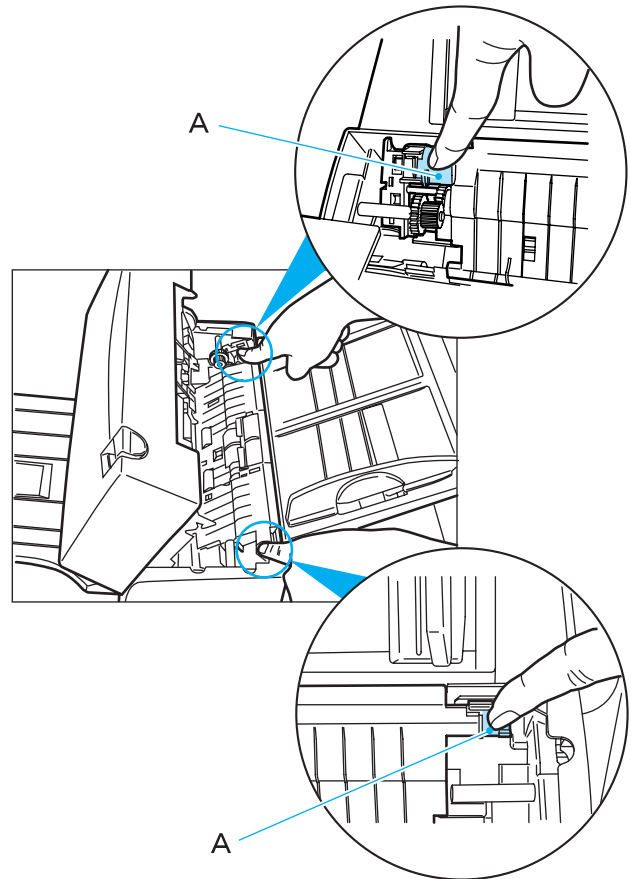
- 7** ピック軸受けを回転させ、ツメをロックします。2本ともロックしてください。



- 8** 手順2と逆の順にガイドAを取り付け、ガイドAの案内ピンをADFユニット内部にある固定フレームの穴に挿入してください。



- 9** ツメがカチッと音がするまで A の位置を押して、ツメをロックしてください。



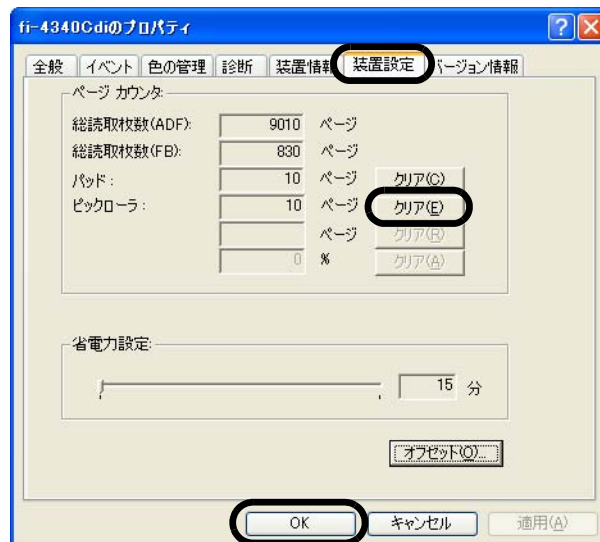
- 10** ADF ユニットを閉じます。

11

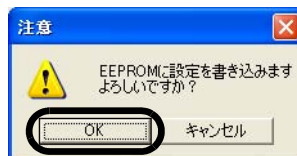
ピックアップカウンタをリセットします。

•Windows 98 / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP の場合

1. スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
2. ホストコンピュータのコントロールパネル内より [スキャナとカメラ] を選択します。
3. [fi-4340Cd]* のプロパティを開きます (* オプションにより装置名が変わる場合があります)。
4. [fi-4340Cd] のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
5. 「装置設定」タブをクリックします。
以下の画面が表示されます。



6. 「ページカウンタ」内の「ピックアップ」の横の [クリア] ボタンをクリックした後、[OK] ボタンをクリックします。
以下の画面が表示されます。



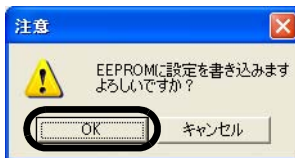
- [OK] ボタンをクリックします。
これでパッドカウンタが0に戻ります。

●Windows 95 / Windows NT 4.0 の場合

1. スキャナの電源を投入し、スキャナとパソコンが接続されていることを確認します。
2. タスクトレイに表示されている「FUJITSU Scanner Control Center」のアイコンを右クリックして、「オプション」を選択します。
3. 「装置設定」タブをクリックします。
以下の画面が表示されます。



4. 「Page Counter」内の“ピックアップ”の横の[クリア]ボタンをクリックした後、[OK]ボタンをクリックします。
以下の画面が表示されます。



- 「OK」ボタンをクリックします。
これでピックアップカウンタ（ピックアップ使用回数）が0に戻ります。

4

困ったときには

本章では、つまった用紙の取り除き方、異常の点検と診断、およびサービスセンタに連絡する前にご記入いただくチェックリストについて説明します。

[つまった用紙を取り除く](#)

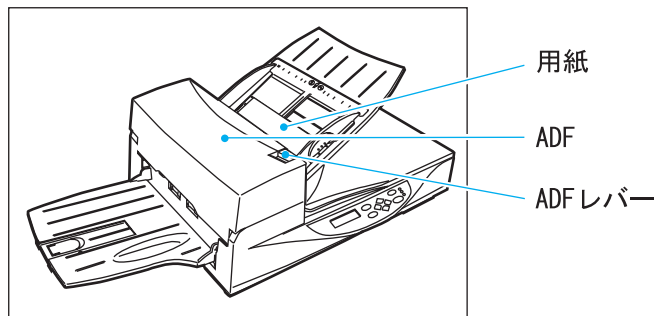
[異常の点検と診断](#)

[チェックリスト](#)

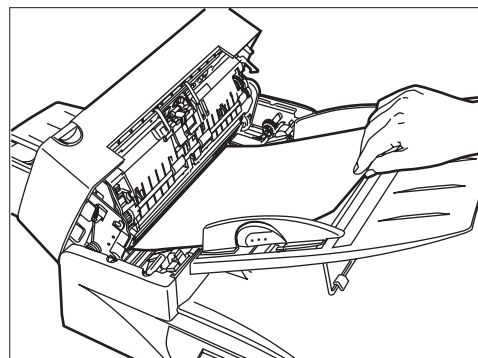
[装置ラベルの確認](#)

[ハードウェアの故障 / 修理のご質問・お問い合わせ窓口](#)

つまった用紙を取り除く

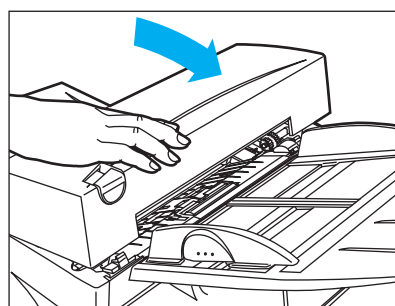


- 1 ADF 給紙シュートに用紙があれば取り出します。
- 2 ADF レバーを引いて ADF を開けます。
- 3 つまった用紙を取り除きます。



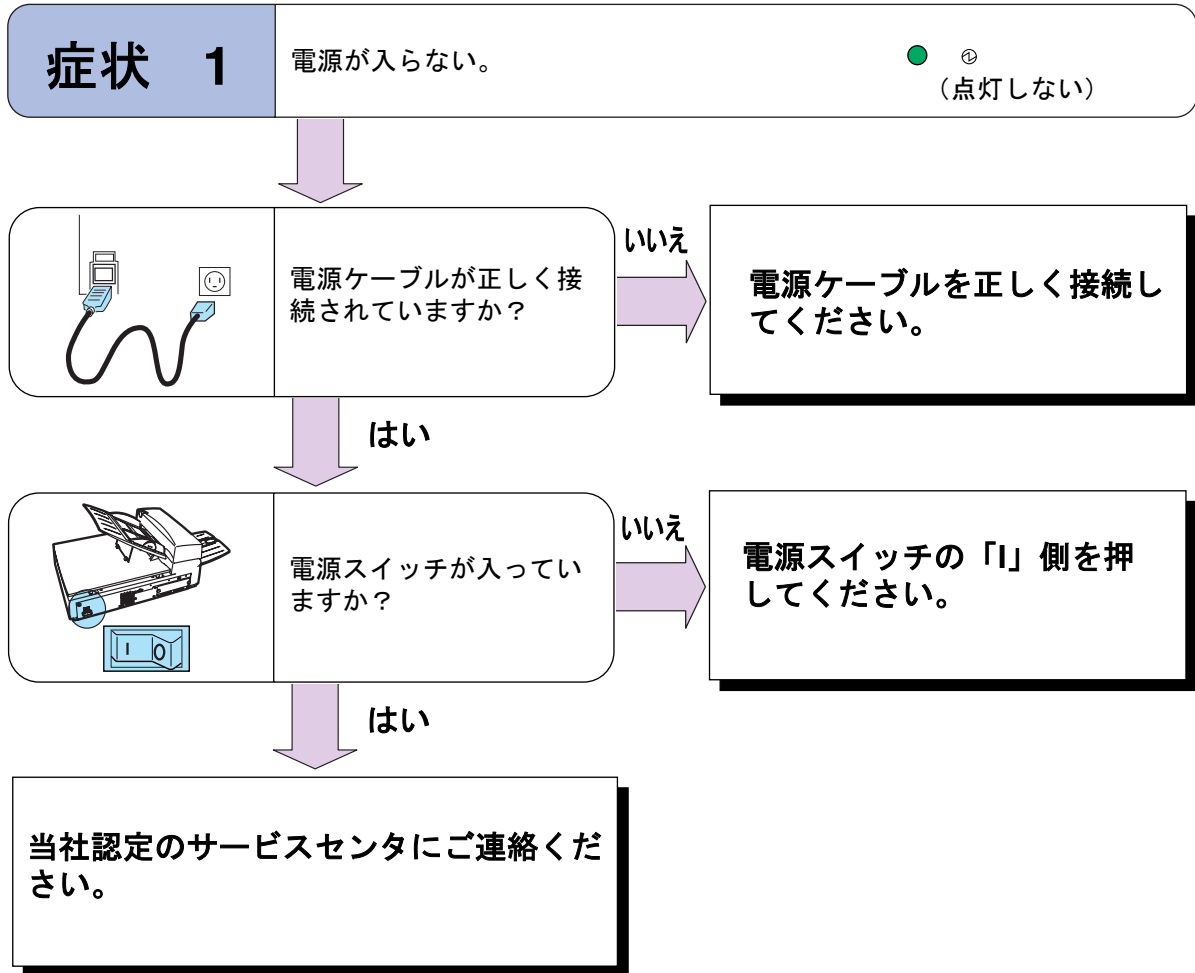
ステープラーの針やクリップなどは紙づまりの原因となりますので、原稿と搬送路にステープラーの針やクリップが残っていないかをよく調べて必ず取り除いてください。
つまった用紙を取り除く際に、ピック用のスプリングを引っ張らないように注意してください。

- 4 ADF ユニットを閉じます。



異常の点検と診断

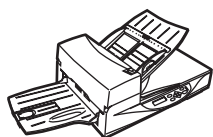
本装置を使用していて何か問題が起こったら、当社認定のサービスセンタに連絡する前に、以下の項目を確認してください。



症状 2

操作パネルの表示が消える。

②
(電源投入)

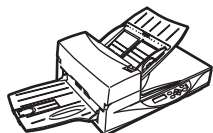


スキャナを最後に使用してから長時間がたっていますか？

はい

操作パネル上のボタンのどれかを押して、スキャナを起動してください。

いいえ

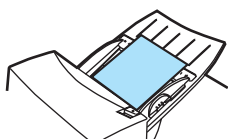


スキャナは、すぐにこの状態になりましたか？

はい

セットアップモードで、「低電力モード」に入るまでの時間を長くしてください。

いいえ

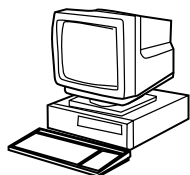


ADF 給紙シュートに用紙を載せましたか？

はい

ADF 給紙シュートに用紙を補給するか操作パネル上のボタンのどれかを押してください。

いいえ



コンピュータが読み取りを指示してから 10 秒以上たちましたか？

いいえ

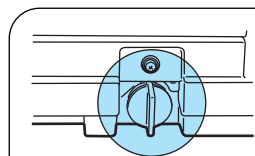
10 秒以上待ってください。

はい

当社認定のサービスセンターにご連絡ください。

症状 3

読み取りが開始されない。

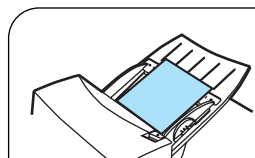


輸送レバーが動作時の位置にセットされていますか？

いいえ

輸送レバーを正しい位置にセットしてください。
(オペレータガイドを参照してください。)

はい

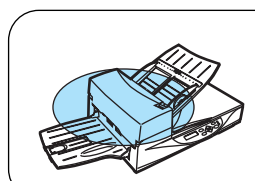


ADF 給紙シュートに原稿が正しく載せられていますか？

いいえ

原稿を ADF 給紙シュートに挿入してください。

はい

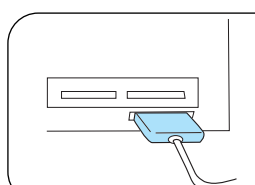


ADF は完全に閉じていますか？

いいえ

ADF を完全に閉じてください。

はい

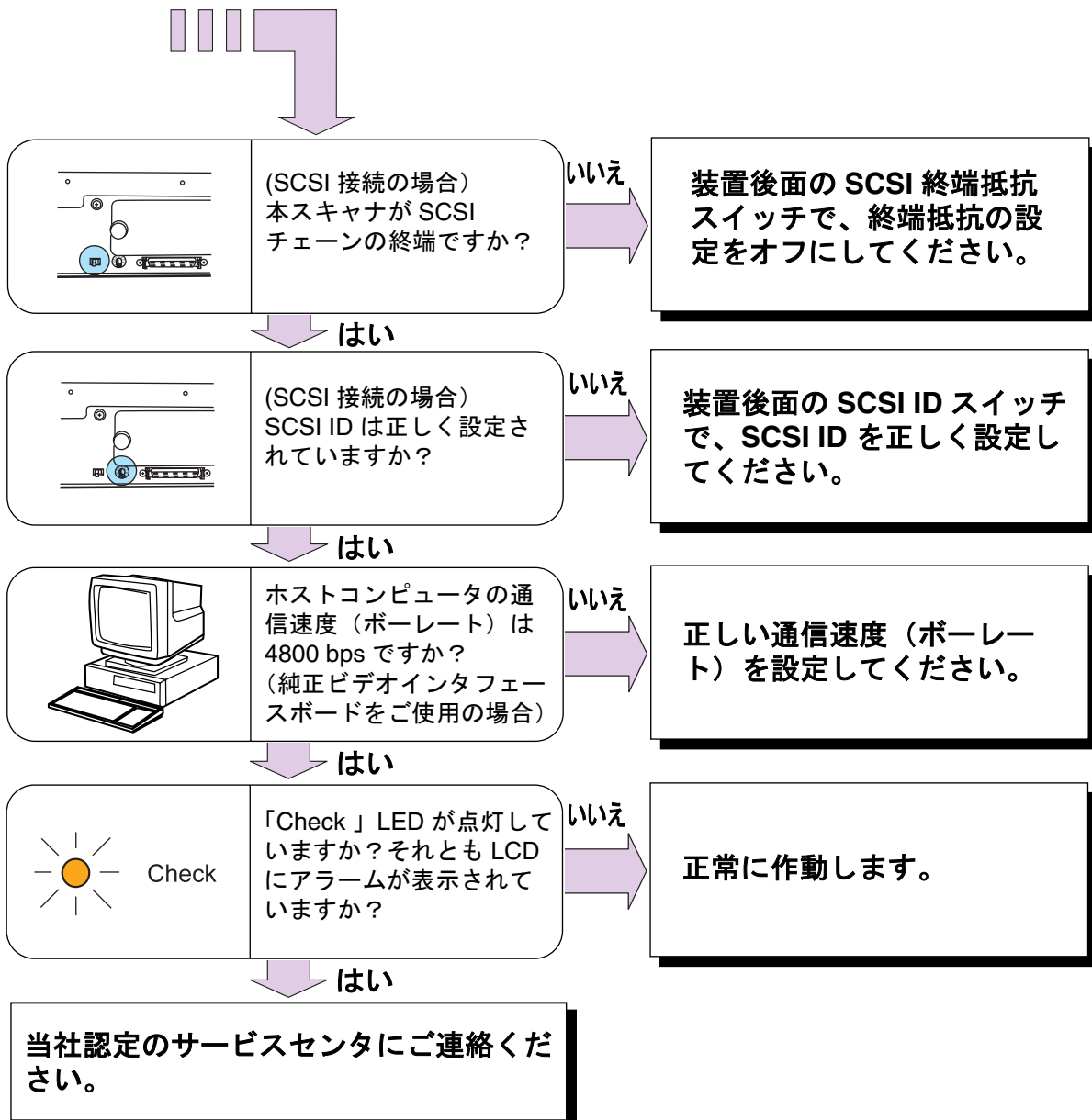


インターフェースケーブル (USB または SCSI) は正しく接続されていますか？

いいえ

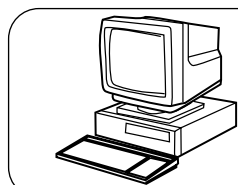
インターフェースケーブル (USB または SCSI) を正しく接続してください。

はい



症状 4

絵や写真の読み取り結果が良くない。

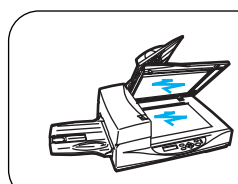


中間処理またはディザリング処理を選択していますか？

いいえ

ホストコンピュータから中間処理またはディザリング処理を選択してください。

はい



原稿台、ドキュメント押さえ패드、ガラス、およびシートガイドはきれいですか？

いいえ

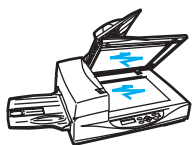
汚れている箇所を清掃してください。
(2-4、2-10 ページ参照)

はい

当社認定のサービスセンターにご連絡ください。

症状 5

文字や線の読み取り結果が良くない。



原稿台、ドキュメント押さえパッド、ガラス、およびシートガイドはきれいですか？

いいえ

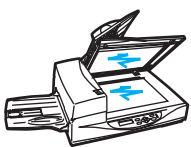
汚れている箇所を清掃してください。
(2-4、2-10 ページ参照)

はい

当社認定のサービスセンターにご連絡ください。

症状 6

画像がゆがむ、または鮮明でない。

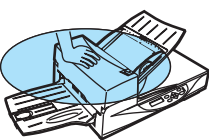


原稿台、ドキュメント押さえパッド、ガラス、およびシートガイドはきれいですか？

いいえ

汚れている箇所を清掃してください。
(2-4、2-10 ページ参照)

はい

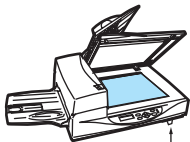


ADF で裏面読み取り中に、ADF の上部を押さえていますか？または上に重いものを置いていますか？

はい

ADF の上部を押さえついたり、上に重いものを置いたりしないでください。

いいえ



ゴム脚なし

スキャナは水平で平らな面に置かれていますか？または、スキャナのゴム脚がなくなっていないですか？

いいえ

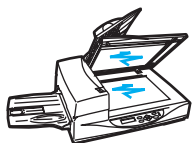
スキャナを水平で平らな面に置いてください。または、ゴム脚を取り付けてください。

はい

当社認定のサービスセンターにご連絡ください。

症状 7

読み取った画像に縦線が出る。

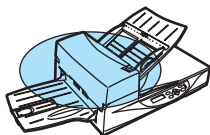


読み取る際に、フラットベッドを使って読み取りましたか？また、その線は白ですか？

はい

当社認定のサービスセンターにご連絡ください。

いいえ



その線は黒ですか？

はい

ADF ガラスを清掃してください。

いいえ

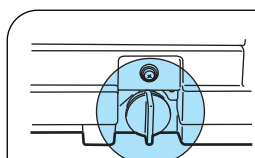
当社認定のサービスセンターにご連絡ください。

症状 8

電源投入直後、「Check」LED が点灯する。



CHECK

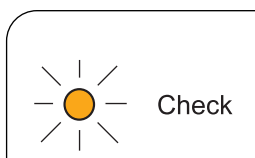


輸送レバーが動作時の位置にセットされていますか？

いいえ

輸送レバーを正しい位置にセットしてください。
(オペレータガイド参照)

はい



Check

電源を切断し、入れ直してください。
「Check」LED がまだ点灯しますか？それとも、LCD にアラームが表示されますか？

いいえ

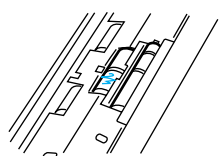
正常に作動します。

はい

当社認定のサービスセンタにアラーム表示名をご連絡ください。

症状 9

LCDに「ピックアップノセイソウ」と表示される。

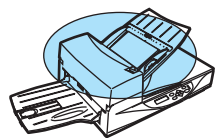


ピックアップが汚れていますか？

はい

ピックアップを清掃してください。
(2-6 ページ参照)

いいえ

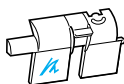


原稿の状態は、オペレータガイドで説明されている要件を満たしていますか？

いいえ

カールを平らにするか、または読み取り時にフラットベッドを使用してください。

はい



パッド ASSY が汚れていますか？または、擦り減っていますか？

はい

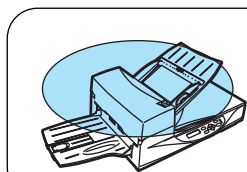
パッド ASSY が汚れている場合は清掃してください。擦り減っている場合には交換してください。
(2-5、3-3 ページ参照)

いいえ

当社認定のサービスセンターにご連絡ください。

症状 10

マルチフィードが頻繁に起こる。

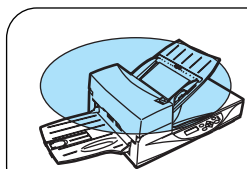


原稿の状態は、オペレータガイドで説明されている要件を満たしていますか？

いいえ

カールを平らにするか、または読み取り時にフラットベッドを使用してください。

はい

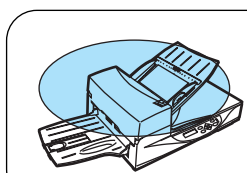


マルチフィードの検出が Yes になっているとき、すべての原稿は同じ長さですか？

いいえ

マルチフィードの検出を No に設定にしてください。(オペレータガイドを参照してください。)

はい

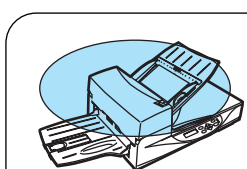


ADF 給紙シュートに原稿を置く前に、原稿をさばきましたか？

いいえ

原稿を載せる前に原稿をさばくか、または原稿の分量を減らしてください。

はい

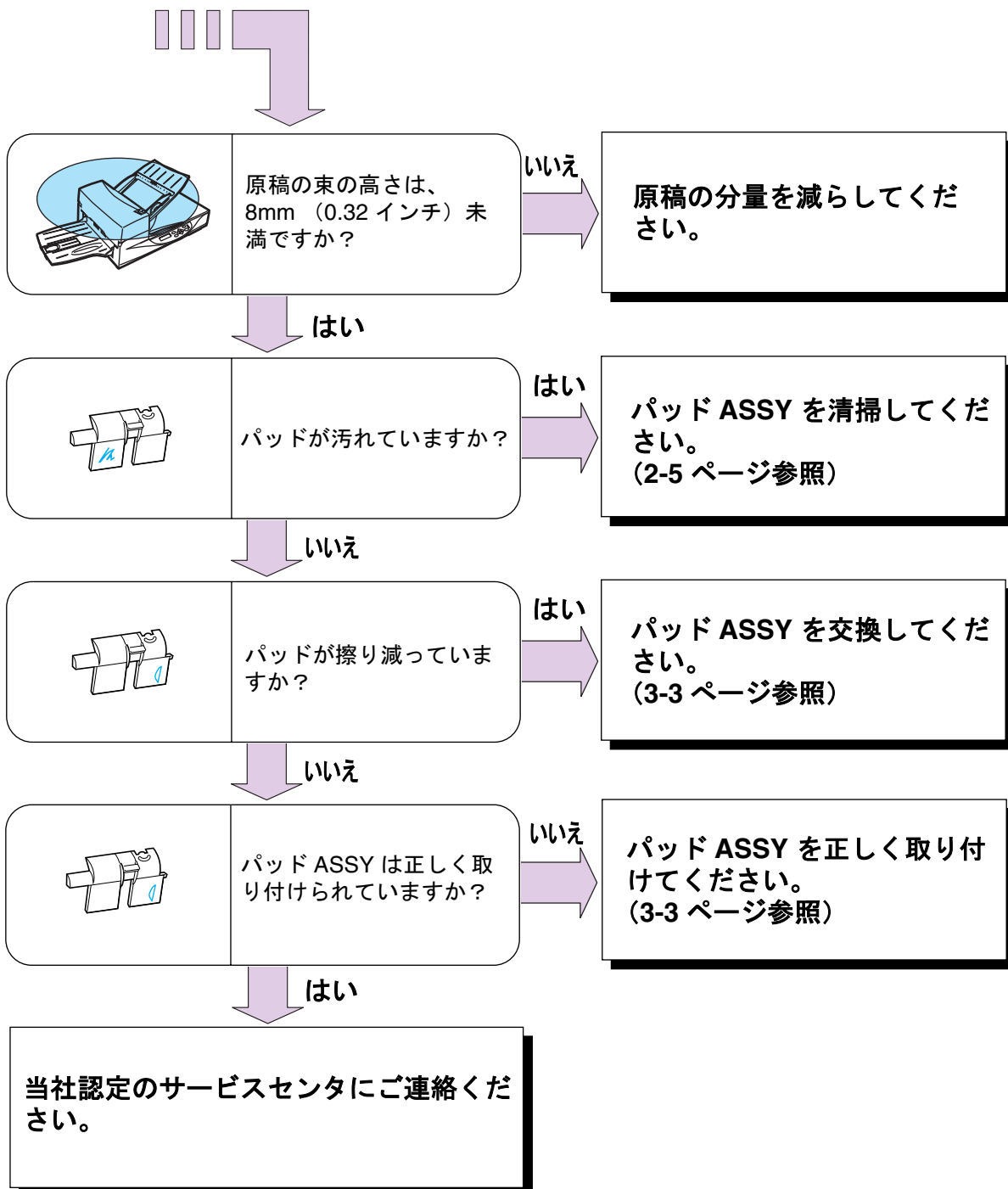


原稿は、コピー機またはレーザープリンタで最近印刷されたものですか？

はい

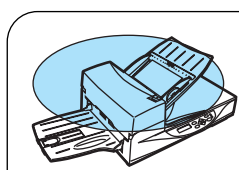
3、4回さばいて、用紙にたまっている静電気の電荷を取り除きます。

いいえ



症状 11

ピックミスが頻繁に起こる。

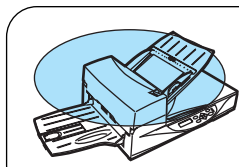


原稿の状態は、オペレータガイドで説明されている要件を満たしていますか？

いいえ

カールを平らにするか、または読み取り時にフラットベッドを使用してください。

はい

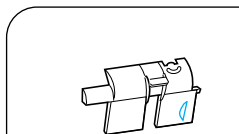


ADF 給紙シュートに原稿を載せる前に、原稿をさばきましたか？

いいえ

原稿を載せる前に原稿をさばくか、または原稿の分量を減らしてください。

はい

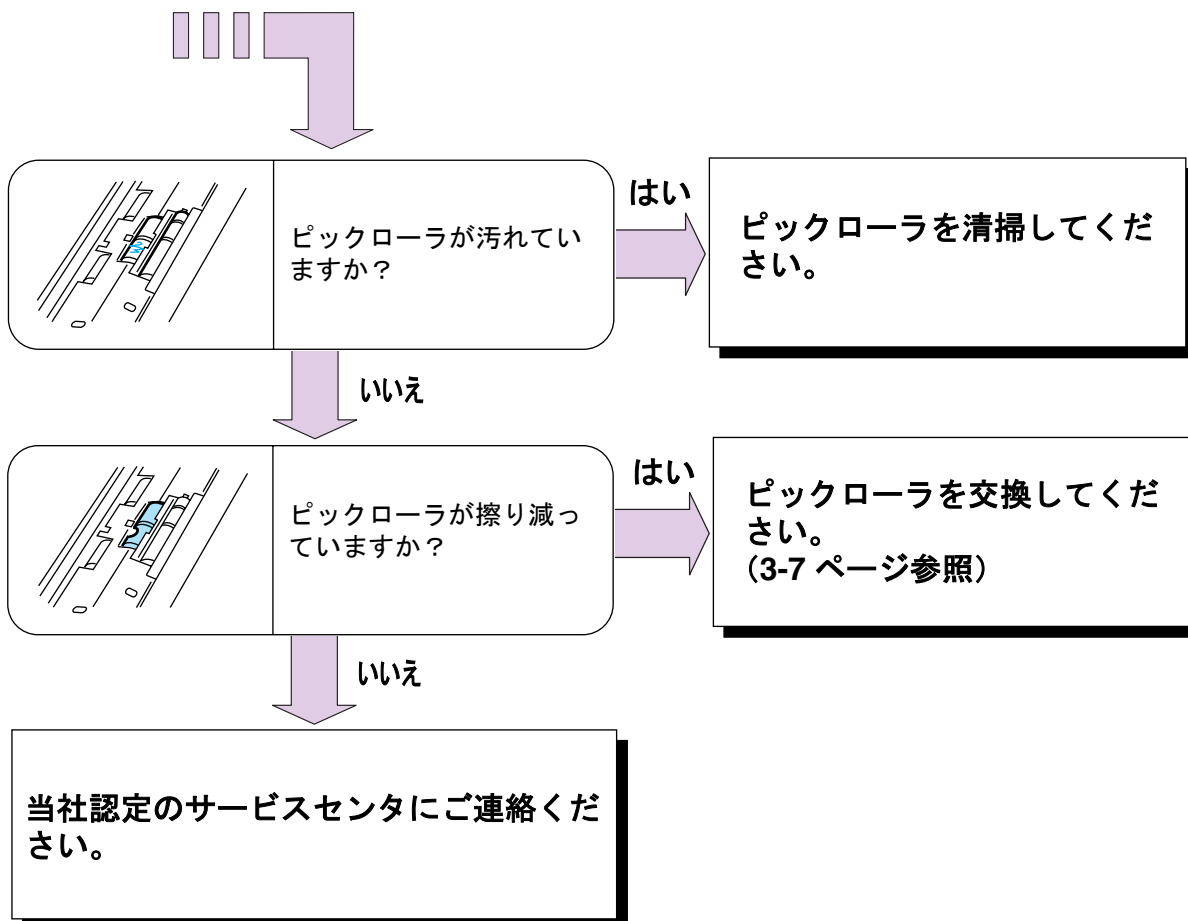


パッド ASSY は正しく取り付けられていますか？

いいえ

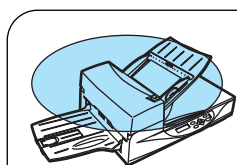
パッド ASSY を正しく取り付けてください。
(3-3 ページ参照)

はい



症状 12

頻繁に紙づまりが起こる。

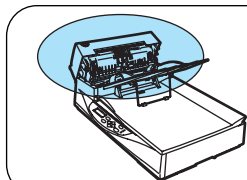


原稿の状態は、オペレータガイドで説明されている要件を満たしています

はい

カールを平らにするか、または読み取り時にフラットベッドを使用してください。

いいえ

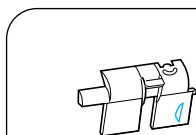


ADFの中に何か異物がありますか？

はい

ADFを清掃するか(2-4ページ参照)、またはADFから異物を取り除いてください。

いいえ



パッドASSYは正しく取り付けられていますか？

いいえ

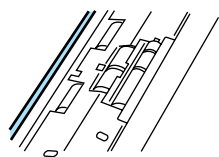
パッドASSYを正しく取り付けてください。(3-3ページ参照)

はい

当社認定のサービスセンターにご連絡ください。

症状 13

操作パネルに「ADF ガラス ノ セイソウ」と表示される。



ADF ガラスが汚れていますか？

はい

**ADF ガラスを清掃してください。
(2-5 ページ参照)**

いいえ

当社認定のサービスセンターにご連絡ください。

チェックリスト

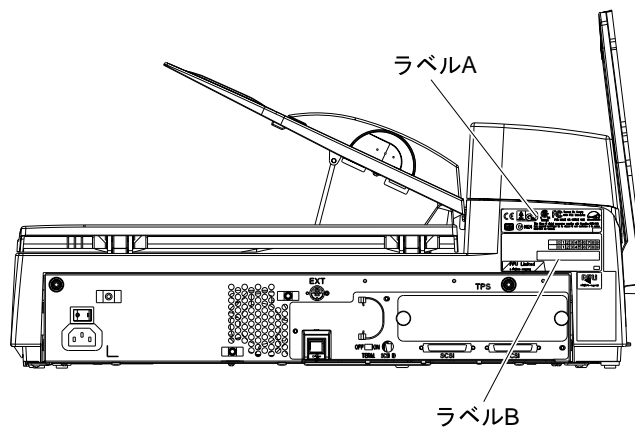
当社のサービスセンターにご連絡する前に、以下の項目をお調べ願います。

■ 概要																																												
装置名 (モデル)	(例) fi-4340C																																											
パーツ番号	(例) PA03277-B002																																											
製造番号	(例) 00002																																											
製造年月	(例) 2004-10 (2004年10月)																																											
装置版数	<div style="display: flex; align-items: center;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> </table> <div style="margin-left: 10px;"> <p>装置版数は、装置を後ろから見て右側角の装置版数ラベルに印刷されています。</p> <p>装置版数は二重線でチェックされています。</p> <p>左の例では、A2となります。</p> </div> </div>											A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	B	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																		
B	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																		
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																																		
購入年月日																																												
症状																																												
故障頻度																																												
いつどのような保守を受けましたか？																																												
エラー状況																																												
■ 搬送路エラー																																												
原稿の種類 (サイズ、厚さ、特徴等)																																												
主な使用目的																																												
最新の清掃年月日																																												
消耗品の交換年月日																																												
■ 画像エラー																																												
インタフェースコントローラの種類																																												
ソフトウェア/アプリケーション名																																												
原稿と出力紙の両方をファクスかまたは郵便で送ることは可能ですか？																																												
■ パソコン接続時の問題																																												
OS (Windows) の種類																																												
画面のエラーメッセージ																																												
インタフェースの種類	(例) SCSI インタフェース																																											
インタフェースコントローラの種類	(例) Adaptec 社製 SCSI Card 2940AU																																											
■ その他																																												
原稿と出力紙の両方を、Eメール、またはFaxで送ることは可能ですか？																																												

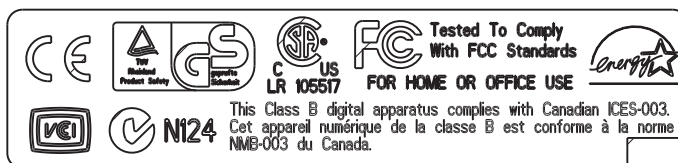
装置ラベルの確認

ここでは、ラベルの確認のしかたについて説明しています。

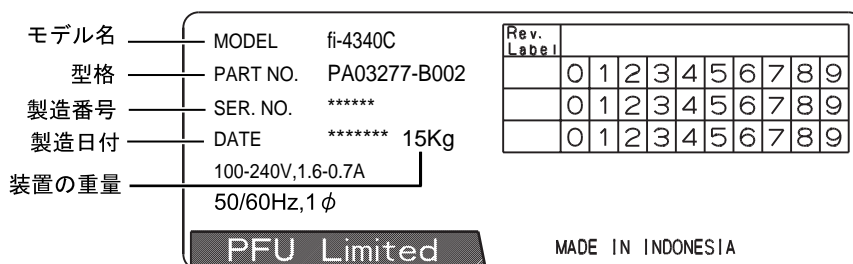
二つのラベルの位置



ラベル A (例)：装置が適合する規格について示しています。



ラベル B (例)：装置の情報を示しています。



注

製造番号が 700001 以降のモデルは SCSI と USB, 両方のインターフェースを搭載しています。

ハードウェアの故障 / 修理の ご質問・お問い合わせ窓口

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強かにバックアップいたします。

■ 契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

1. 定額訪問修理サービス

機器の故障発生時には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業を行います。メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応を行います。全国サービスネットによる迅速な保守対応を行います。

2. 定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応を行います。機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。消耗品はお客様の費用負担となります。

■ スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

1. センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理を行います。

SENDバック修理サービス	持込基本料 + 部品費 * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス（付加）*1 *2	修理中に代替機を貸出します。 （引き取りと併用）

*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

*2 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承ください。

キャンセル料	持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合などにかかります。
--------	---

2. オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

オンサイト修理サービス	訪問基本料金（作業時間 = 1 時間まで）+ 部品費 + オプション料金 + 加算料金（技術料金、その他加算料金）
-------------	---

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	PFU イメージング サービス & サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120 - 37 - 9089 042 - 788 - 7746（携帯電話からおかけの場合）
受付時間	月～金曜日 9:00～12:00、13:30～17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://imagescanner.fujitsu.com/jp/

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。

詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

■ 消耗品の購入先

パッドユニットなどの消耗品のご購入については、本装置を購入された販売代理店、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社

TEL: 0120-505-279 (お客様総合センター)

<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

電話お問い合わせ受け付け時間：月～金／9：00～17：：30（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

- 本製品の修理はお客様自身ではおこなわないでください。
- 本製品の保証条件については製品に同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。保証書には所定事項をご記入の上大切に保管願います。
- 本製品の修理部品の最低供給期間は製品の製造打ち切り後5年間です。

fi-4340C 清掃と保守のガイド

P3PC-E842-05

発行日 2006年6月

発行責任 株式会社 PFU

- ・本書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを複製することは著作権法上禁止されております
- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります
- ・本装置の使用および本書に記載された内容に起因した損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責を負いません
- ・本装置の保証条件は、同梱の当社の保証書の規定をご覧ください
- ・本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後5年間です